



峰山ヒルクライム 第一回大会開催

7月1日(日)に、神戸町役場をスタートとし、リラクシアをゴールとする「峰山ヒルクライムレース」が行われました。17kmの山道を自転車であがるレースとなりました。全国各所から500人の選手が集まり、大きな大会となりました。プロの選手たちも走る中、生徒たちは地元高校の選手ということで、出走前にアナウンスしていただきました。第2回、第3回と大きくなり、神戸町のビックイベントになることを期待しています。



救急処置講習会



7月3日(月)と、10日(月)にそれぞれ職員、運動部代表生徒と保健美化委員を対象とした救急法講習会を開催し、熱中症の予防、救急処置についての講話と、AEDを用いた一次救命処置の実技演習を行いました。

「頭痛は我慢してしまいう症状だけでも、熱中症の危険なサインかもしれないと思うと、無理をしないといけないと思えました。」バドミントンは風があるとできないため体育館を締め切っています。こまめに水分補給をしていきたいです。」倒

れている人を一人で助けるのは本当に難しいので、みんなで協力して助けたいです。「いざという時にはAED・担架・椅子を持って行きたいです。」(生徒の感想文)



避難誘導訓練



7月10日(火)に、地震とそれに伴う火災の発生を想定した避難誘導訓練を実施しました。

避難訓練終了後に、体育館において、関西学院大学大学院客員教授の飯島義雄氏に「地域の絆で防災対策を」という演題で、講演をしていただきました。

総務省消防庁課長として、また姫路市副市長として、防災対策をリードされてきた体験を基に、これからの防災を進める上で、我々がなすべきことについて、明確な示唆を与えていただきました。

生徒たちには、地震や豪雨に対して引っ込み思案にならず、積極的に「防災」「減災」を実践してほしいと願っています。



ちょっと一言 ◇記録的な猛暑の続く中、「命一番」「自主力」「相補力」をキーワードに、皆頑張ってくださいました。ありがとうございます。(N. A.)